

内容(予は要予約)	とき		対象(対は対象)
親子健康手帳交付	8日(月)	9:45集合	妊婦
	25日(木)	13:30集合	
パパママ教室(1回目)	8日(月)	10:30受付~11:30終了	主に妊娠6か月ごろまでの初妊婦とその夫
予 パパママ教室(2回目) ※予約は土日のみ	13日(土)	9:15受付~11:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。 (希望者は保健センターへ連絡してください)		妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは 赤ちゃん訪問	3~4か月児健診受診前		すべての赤ちゃんとその保護者 (里帰り出産で市内滞在中の人も対象となります)
転入者予防接種等 説明会	22日(月)	10:00集合	主に7歳未満の子がいる転入世帯 (健康推進課窓口等で転入手続きした人を除く。)
HPを見る のびのび計測日*1	青少年児童センター 10日(水)	10:15~10:45受付	未就園児 ※1医師の診察はありません。 持 親子(母子)健康手帳・乳児の場合はパスオール
	西児童館 18日(木)		
予 離乳食教室	19日(金)	10:00~11:30	主に第1子(4~5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
予 妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください。		妊婦と産後1年未満の産婦
BCG接種	9日(火)	9:15~10:15受付	H30年10月16日~H30年10月31日生
	26日(金)		H30年11月1日~H30年11月15日生
予 予防接種 (記事ID 1192) HPを見る	予 B型肝炎		対 生後1歳未満
	予 ヒブ、小児肺炎球菌		対 生後2~60月に至るまで
	予 4種混合、不活化単独ポリオ		対 生後3~90月未満
	予 麻しん・風しん混合、麻しん単独・風しん単独		対 第1期: 生後12~24月未満 第2期: 小学校入学前の1年間
	予 水痘		対 生後12~36月未満
	予 日本脳炎		対 1期: 生後6~90月未満、2期: 9~13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり
	予 二種混合		対 11~13歳未満
予 子宮頸がんワクチン		対 小学6年生~高校1年生の女子	
体成分分析装置測定会	随時(日時要相談)		市内在住の人

納期限(5月7日)までに納めてください

税目	納期	問合先
介護保険料	第1期	長寿課 ☎56-0613

口座振替の人は、納期限の日に引落しますので残高を確認してください。納付は便利な口座振替を利用してください。

日曜・祝日・年末年始の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所
☎0561-73-7555 (記事ID 1197) **HPを見る**
診療日時 日曜・祝日・年末年始
9:00~16:30(昼休憩1時間あり)
診療科目 内科・小児科
所在地 日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター
☎0561-82-1133
24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎62-3311(代表)
なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費(5,400円)が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学へお問い合わせください。

ゴールデンウィーク中の東名古屋医師会休日急病診療所診療日

問 東名古屋医師会休日急病診療所 ☎0561-73-7555 (記事ID 1197)
ゴールデンウィーク期間中の診療日は次のとおりです。
4/28(日)・4/29(月)・4/30(火)・5/1(水)・5/2(木)・5/3(金)・5/4(土)・5/5(日)・5/6(月)

ドクターからあなたへ

緩和ケアについて

東名古屋長久手市医師会

皆さんは「緩和ケア」という言葉をご存知ですか?これまでの「緩和医療」は、主に、がんの患者さんの終末期を支えるケアとして普及してきました。ところが、2014年に世界保健機構(WHO)が、人生の最終段階に緩和ケアを必要とする患者さんの割合が最も多いのは「循環器疾患」で、2番目が「がん」であることを報告しました。この報告によって、循環器疾患(主に心不全)の患者さんにも緩和ケアが必要であるとの認識が高まりました。

実際、日本の現状では、心不全の患者さんは約120万人と推計され、がん(約100万人)よりも多いです。それだけ、心不全の末期で、苦痛に直面している患者さんが激増しています。その他の疾患で、緩和ケアの対象になるのは、慢性閉塞性肺疾患(いわゆるタバコ病等)、血液疾患、慢性腎臓病等です。がんと比べて、心不全は経過が長く、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら徐々に悪化していきます。がんでは、積極的な治療を止めて、ホスピス(緩和ケア病棟)に入院することも可能ですが、心不全では最後まで治療と緩和ケアを並行して行う必要があります。また、がんと比べて、心不全では、安静に

していると息苦しさが軽減しますので、何度も入退院を繰り返すことになり、精神的な苦痛、社会的な苦痛が重なり、うつ状態に陥りやすくなります。よって、多職種が多面的に関わることが、心不全の緩和ケアにはとりわけ重要になります。つまり、地域の中で心不全の患者さんを支えていく体制づくりが求められます。

さて、「第20回 あのドクターの あのお話を」を開催いたします。今回は、きとう眼科クリニック 鬼頭昌大院長から「緑内障の最新情報」と題して、こせんじょう通あんどうクリニック 安藤英也院長から「乳癌について」と題して、ながくて北川こどもクリニック 北川好郎院長から「こどもの花粉症について」と題して、西堀形成外科 西堀公治院長から「しみ、あざ、のレーザー治療最前線」と題して、講演いただきます。皆さんの多数のご参加をお待ち申し上げます。

時 4月13日(土) 13:30開場 14:00開演
場 文化の家 風のホール
他 予約不要・参加費無料
問 たんぽぽクリニック(☎42-4099)